

1/22 金曜

①手作りのメッセージカードを掲げ、ショプロビーコールする人たち。②弾道ミサイル飛来を想定して地下に避難する住民ら

避難。座りこんで頭を手で覆うなどしました。同市で覆うなどしました。同市で弾道ミサイル飛来を想定した避難訓練が行われたのは初めて。



ミサイル想定避難実施

那覇 市民「訓練よりも外交を」

銘苅地域に住む女性(74)は「避難訓練をするというチラシを見てびっくりした。沖縄戦体験者だった母が『戦争』というのは政府が起にして、國が何も分からなくなつたからやつてくる。気をつけなさい」と繰り返していたのを感じ出しました。子や孫たちの未来を戦争の時代にさせたくない」と語りました。

那覇市は21日、弾道ミサイルの飛来を想定した避難自走的で集結。大軍撃で戦た。訓練を同市内で実施しました。訓練だとして、「訓練で市が発射された」として、午前10時すぎから住民約90人が公共施設前には、訓練よりも外交努力を」とが公共施設の地下駐車場に

子どもを連れて参加した立田裕美さん(53)は「戦争への準備が進むほど、間違いなく子ともや弱い立場の人たちのことを考えてくれないようになる。一人ひとりが声を上げていなければ」と話しました。